

個人のあらゆるデータを調査・分析し、それをもとに政治意見を誘導する手段で、世論操作が行われている。デジタル化とグローバル化の中権力のあり方は変化しており、監視すべき権力が見えにくくなり、逆にますます権力に監視される立場に置かれている。情報操作のためますます不可視化され、抽象化され、そして日常に偏在するようになった権力に対して、ジャーナリズムは監視の手綱を緩めてはいけないということ。